

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月8日（火）
株式会社 **力ネカ**

目 次

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
事業ポートフォリオの変革を加速する大型投資	3
事業概況	5
貸借対照表	9
業績予想の修正	10
配当予想の修正	12

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



(単位：億円)

	2021年3月期 3Q累計	2022年3月期 3Q累計	増減	
			金額	%
売上高	4,215	5,087	872	20.7%
営業利益	173	333	160	92.7%
経常利益	126	313	187	147.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	97	220	124	128.0%
1株当たり四半期純利益	148.08円	337.55円		

(世界経済)

- コロナワクチンの接種、各国の感染対策緩和や経済・金融政策の効果で回復基調
- 半導体などの部品や資材不足、ロジスティクスの混乱、資源・エネルギー価格高騰の継続、コロナ感染再拡大による生産活動への影響や物価の上昇など、不透明な事業環境が続く

(当社グループの業績)

- 3Q累計の業績は大幅な増収増益、すべての事業セグメントも増収増益
- 3Q(10~12月)の売上高は過去最高を更新、営業利益は5四半期100億円超



セグメント別 売上高・営業利益



カガクでネガイをカナエル会社

	売上高									
	2021年3月期				2022年3月期				3Q累計増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%
Material SU	489	556	602	1,647	700	709	763	2,172	525	31.9%
Quality of Life SU	297	339	392	1,028	409	419	434	1,261	233	22.7%
Health Care SU	117	128	141	385	132	134	154	420	35	9.1%
Nutrition SU	359	376	411	1,146	398	397	431	1,225	80	7.0%
その他	4	2	2	9	3	2	2	8	△1	△8.0%
計	1,266	1,401	1,548	4,215	1,641	1,662	1,784	5,087	872	20.7%

※SU : Solutions Unit

(単位: 億円)

	営業利益									
	2021年3月期				2022年3月期				3Q累計増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%
Material SU	29	45	65	138	93	87	83	263	124	89.8%
Quality of Life SU	12	27	44	84	46	47	45	138	54	64.7%
Health Care SU	23	27	32	82	23	29	32	84	2	2.9%
Nutrition SU	8	6	19	33	14	7	16	36	3	10.1%
その他	2	1	1	4	2	1	1	3	△1	△20.4%
調整額	△ 54	△ 56	△ 58	△ 169	△ 60	△ 59	△ 73	△ 192	△ 23	-
計	20	50	103	173	118	112	103	333	160	92.7%

※SU : Solutions Unit

先端事業群：

- Health Care SU バイオロジクス能力増強によるコロナワクチン受託製造、PCR検査キット、検査試薬など新型コロナ対策が業績に寄与
血液浄化事業 新製品は市場評価高く販売拡大
- E&I ポリイミド製品・アクリルフィルム用樹脂の販売増加
- PV 再生可能エネルギーの利用拡大加速、販売増加

コア事業群：

- Material SU (Vinyls、MOD、MS)・Fiber グローバルネットワークを活かし、海外の旺盛な需要に応え好調な販売、大幅な増収増益

＊ 事業ポートフォリオの変革が着実に進む



②北海道における医療機器工場新設 (投資金額約100億円、2024年5月稼働)

- 北海道・苫小牧東地区にITやAI技術の結集により自動化・高度化した最新鋭の医療機器工場の新設を決定
- 血中悪玉コレステロールを選択的に除去する製品、重症化した閉塞性動脈硬化症の新たな治療法として評価の高い製品を生産
- 米国・中国での需要が急拡大の見込み、新工場により供給基盤を確保し、事業拡大を図る
- 当社太陽電池を設置し「ゼロエネルギーファクトリー」を目指す、本事業用地はMedical領域以外の事業拠点として積極的活用
- 「北海道から世界を健康にする」新たな挑戦がスタート

だから、
カネカは
決めました。

ある人は言いました。北海道の食べ物は美味しくて、品質も良い。と。私たちがカネカは知っています。ここでしかできない、ここからできることがあることを。カネカの技術が北海道の魅力に出会い、産まれる道産の製品が世界を健康にすることを。北海道から、世界のネガイをカナエル。本気で信じるカネカが、動き始めます。

2024年、北海道・苫小牧でカネカ新工場稼働
カネカが、苫小牧東部地域(苫小牧)に建設する医療機器の新工場。広大な敷地と緑・海・空の自然なアクセスを生かし、グローバルな事業展開を加速してまいります。



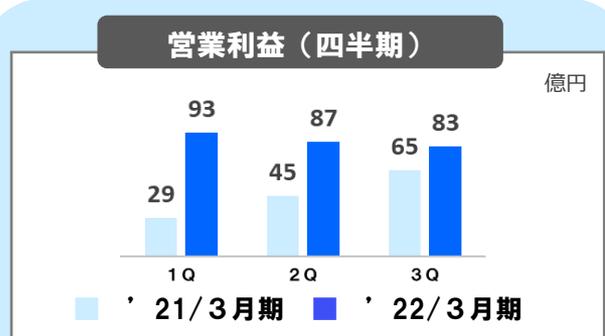
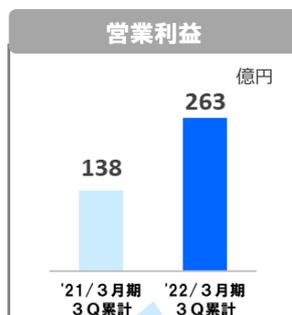
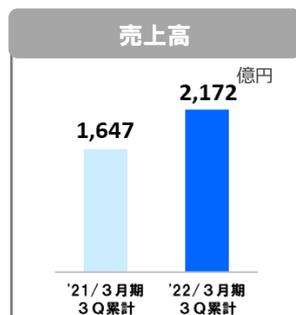

だから、
カネカは
来ました。

ある人は言いました。北海道の食べ物は美味しくて、品質も良い。と。私たちがカネカは知っています。ここでしかできない、ここからできることがあることを。カネカの技術が北海道の魅力に出会い、産まれる道産の製品が世界を健康にすることを。北海道から、世界のネガイをカナエル。本気で信じるカネカが、動き始めます。

2024年、北海道・苫小牧でカネカ新工場稼働
カネカが、苫小牧東部地域(苫小牧)に建設する医療機器の新工場。広大な敷地と緑・海・空の自然なアクセスを生かし、グローバルな事業展開を加速してまいります。




売上高 2,172億円 (前年同期比 +31.9%)
営業利益 263億円 (前年同期比 +89.8%)



Vinyls and Chlor-Alkali

- PVCはインドなどアジア市場の旺盛な需要継続
- 苛性ソーダは海外市況上昇

Performance Polymers (MOD)

- 欧米の需要好調、非塩ビ用途（自動車、PC・家電向け）がグローバルに販売拡大
- グローバル4拠点の供給体制の強みが力を発揮、ビジネスモデルとして差別化力が効果を生む

Performance Polymers (MS)

- 欧米、ニューフロンティア・アジアの建築需要拡大
- 今後の旺盛な需要増が予見され、能力増強検討

新規事業

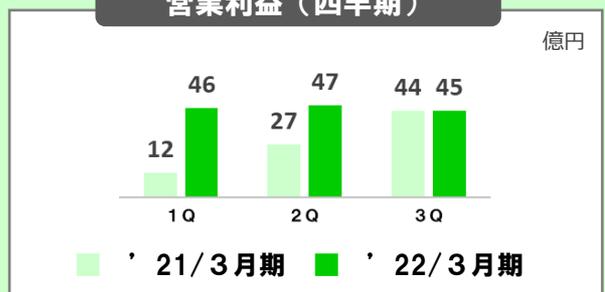
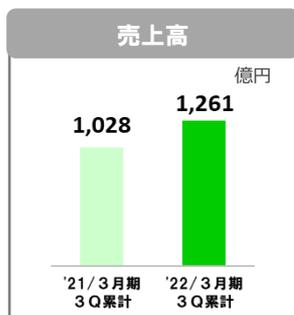
- 「Green Planet」は世界中から引き合い集中、新規採用が一層拡大、環境負荷に関心の高い世界中のブランドホルダーとの大型共同開発が進展



事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)

売上高 1,261億円 (前年同期比 +22.7%)

営業利益 138億円 (前年同期比 +64.7%)



Foam & Residential Techs

- EPS、KLFの販売堅調 原材料高騰が強い影響
- EPOは世界的自動車減産継続により需要回復遅れ

PV & Energy management

- 国策としての再生可能エネルギーのニーズが呼び水となり販売拡大
- ZEB志向のビル（壁・窓・屋根）への需要加速

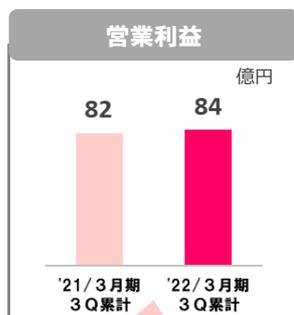
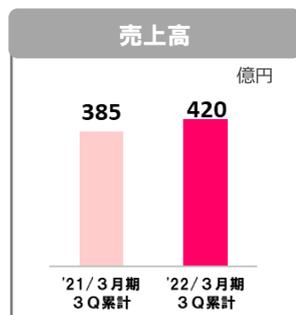
E & I Technology

- スマホ、有機ELディスプレイ用ポリイミド製品、大型TV向けアクリルフィルム用樹脂の販売好調

Performance Fibers

- アフリカ向け頭髮製品の旺盛な需要継続
- 難燃資材向け需要回復、リサイクル性エコファー新製品が注目集める
- 拡大需要に対応するため能力増強検討

売上高 420億円 (前年同期比 +9.1%)
営業利益 84億円 (前年同期比 +2.9%)



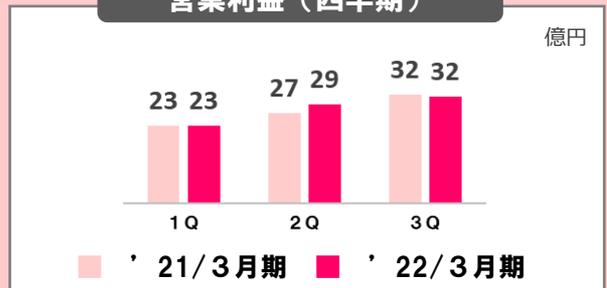
Medical

- A S O治療用新製品販売大幅増加、脳動脈瘤塞栓コイルなど海外のカテーテル販売拡大
- オミクロン型とデルタ型の同時識別PCR検査キット販売、感染拡大の防止に貢献
- 北海道新工場の早期戦力化によりグローバル展開加速

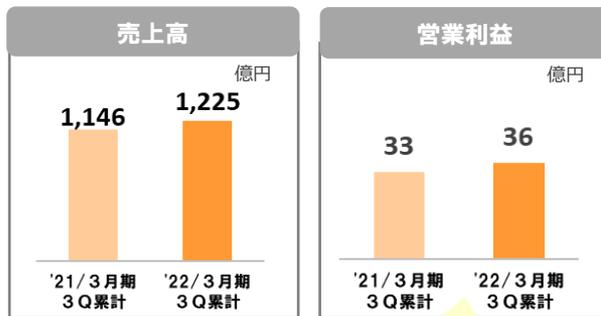
Pharma

- バイオ医薬品はカネカユーロジェンテック増設ラインでのコロナワクチン受託製造スタート、業績寄与
- 研究試薬・検査診断サービス順調
- 低分子医薬品は新規案件獲得し業績拡大目指す

営業利益 (四半期)



売上高 1,225億円 (前年同期比 +7.0%)
営業利益 36億円 (前年同期比 +10.1%)



Supplemental Nutrition

- 「免疫カアップ」意識の高まりで還元型Q10の販売好調
- 国内「わたしのチカラ」還元型Q10配合シリーズ新たな機能性表示取得、ラインナップ強化
- 乳酸菌事業は米国で認知進み、リピートオーダー増、生産体制強化を進める

営業利益 (四半期)



Foods & Agris

- 需要は緩やかに回復も油脂原料大幅上昇の強い影響
- モール型ECサイト「ぱん結び」は会員数増
ECサイト、SNS活用によりBtoCビジネス強化
- 有機酪農を通じてサステナブル社会に貢献、パン業界、乳業の活性化



貸借対照表

(単位：億円)

	2021年3月末	2021年12月末	増減
資産の部			
流動資産	3,090	3,563	473
固定資産 等	3,584	3,563	△ 21
資産合計	6,674	7,126	451
負債の部			
有利子負債	1,182	1,185	3
その他	1,681	1,923	242
負債合計	2,864	3,109	245
純資産の部			
自己資本	3,571	3,772	201
非支配株主持分 他	239	245	6
純資産合計	3,810	4,017	207
負債、純資産 合計	6,674	7,126	451
自己資本比率	53.5%	52.9%	
1株当たり純資産	5,473.85円	5,781.43円	

- 総資産は、売掛金や棚卸資産の増加等により増加
- 負債は、買掛金の増加等により増加
- 純資産は、利益剰余金の増加等により増加



業績予想の修正



カガクでネガイをカナエル会社

(2022年3月期の連結業績見通し)

- IMF 2022年世界GDP成長率4.4%、2021年5.9%から大きく減速
- インフレ進行の米国、コロナ対策優先の中国の景気減速が予測され、ロシア・東欧・東アジア・中近東の地政学的リスクも懸念
- 先端事業群においては、Green Planet計画やHealth Care領域に加え、E&I、PVなどエレクトロニクス領域のR&B活動を積極的に強化し、「世界を健康にする」健康経営に注力する
- コア事業群では、旺盛な海外需要に応じ、世界をカバーするネットワーク力の発揮、変化する外部環境を跳ね返す強靱な収益力強化によりポートフォリオ変革をさらに進める
- 2021年11月9日公表の連結業績予想を上方修正する

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		増減	
	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	5,774	6,600	6,850	1,076	250
営業利益	275	420	435	160	15
経常利益	221	365	400	179	35
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	240	260	102	20
1株当たり当期純利益	242.68円	367.88円	398.53円		

【2022年3月期第4四半期の前提条件】 為替レート：113円/米ドル、130円/ユーロ 国産ナフサ価格：61,000円/KL



業績予想の修正（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2021年 3月期	2022年 3月期		増減		2021年 3月期	2022年 3月期		増減	
	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (11/9)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	2,305	2,730	2,950	645	220	233	310	340	107	30
Quality of Life SU	1,410	1,680	1,680	270	-	107	170	170	63	-
Health Care SU	524	610	610	86	-	114	135	135	21	-
Nutrition SU	1,524	1,570	1,600	76	30	49	55	50	1	△ 5
その他	11	10	10	△ 1	-	6	5	5	△ 1	-
調整額	-	-	-	-	-	△ 233	△ 255	△ 265	△ 32	△ 10
計	5,774	6,600	6,850	1,076	250	275	420	435	160	15

※SU：Solutions Unit



配当予想の修正



カガクでネガイをカナエル会社

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期（予想）	
					前回予想 (11/9)	修正予想
1株当たり純利益（円）	328.46	339.15	214.70	242.68	367.88	398.53
1株当たり配当金（円）	90	100	100	100	100	110

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。
1株当たり純利益、1株当たり配当金は、株式併合後の株式数で算出しております。

（配当予想修正の理由）

- 2021年11月9日公表の連結業績予想を修正したことに伴い2022年3月期の1株当たり年間配当予想を前回予想より10円増額して110円とする
- 詳細は本日公表の「2022年3月期（第98期）配当予想の修正に関するお知らせ」参照

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090